

取扱説明書

セレックスバルブ

4L210・4L220・4L230

4L240・4L250

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用していただくためには材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識(日本工業規格 JIS B 8370 空気圧システム通則に準じたレベル)を必要とします。

知識を持たない人や誤った取扱いが原因で引き起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。

お客様によって使用される用途は多岐多様にわたるため、当社ではそれらすべてを把握することができません。ご使用条件によっては、性能が発揮できない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途、用法に合わせて製品の使用の確認および使用法をよく理解してから決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって、事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、**必ず取扱説明書を熟読し内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。**

本文中に記載してある取り扱い注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。

注意

- 電気配線接続部(裸充電部)に触れると感電する恐れがあります。配線時には必ず電源を切ってから作業をしてください。また、濡れた手で充電部を触らないでください。

このたびは㊥㊦のセレックスバルブ「4 L 2 シリーズ」をご採用いただきましてありがとうございます。

セレックスバルブは、できるだけ多くのお客様に、できるだけ幅広い分野でご使用いただけるように、長年の経験を生し開発された電磁弁です。

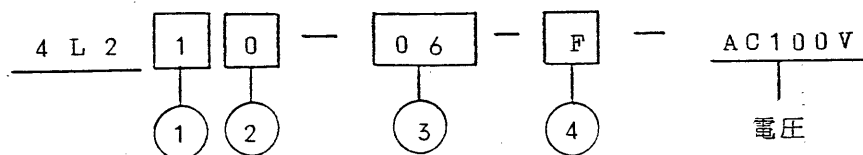
㊥㊦製品は、全て厳しい品質管理のもとで製造されていますので、ご安心してご使用ください。

㊥㊦製品をより効果的にご使用いただくために、この取扱説明書をご一読ください。

目 次

1. 形番の見方	2
2. 作動原理	3
3. 使用上の注意	
3-1 使用上の注意	4
3-2 配管時の注意事項	4
3-3 配線時の注意事項	5
4. 保守点検	
4-1 定期点検	5
4-2 分解図	6, 7

1. 形番の見方



※ 上記形番は、2 位置シングルソレノイド、電磁弁、接続口径 P T ⅜
 DIN 端子箱、手動ノンロック電圧 AC 100 V 50 / 60 Hz を表示します。

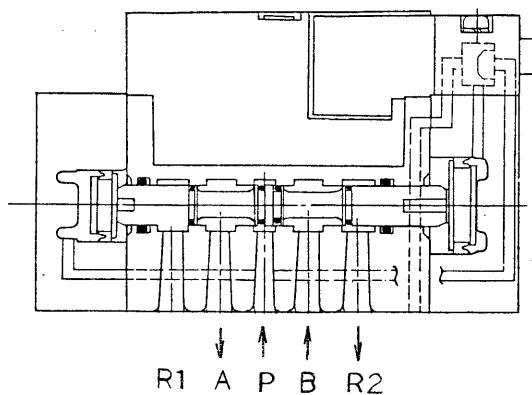
①	切換位置区分
1	2 位置シングル
2	2 位置ダブル
3	3 位置クローズドセンタ
4	3 位置エキゾーストセンタ
5	3 位置 P・A・B 接続
②	操作区分
0	電磁弁
9	電磁弁 (サブプレート無し)

③	接続口径
06	P T ⅜
08	P T ⅝
06 Y	P T ⅜ 裏配管

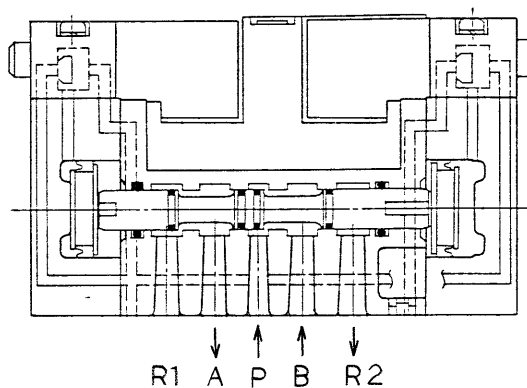
④	オプション
無記号	手動ノンロック
F	D I N 形端子箱
M1	手動ロック
L	ランプ付

3. 動作原理 (非通電時)

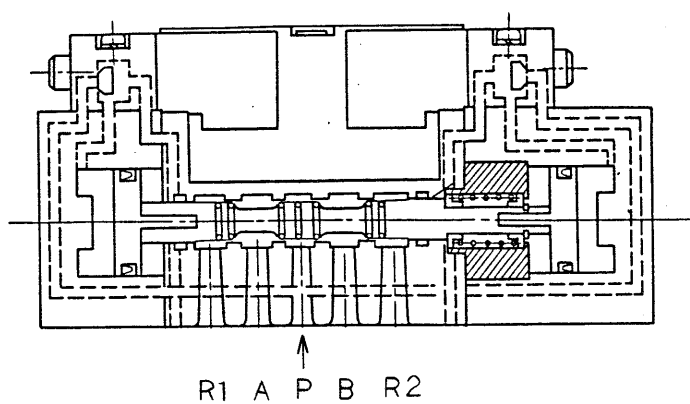
2 位置シングル (4L210)



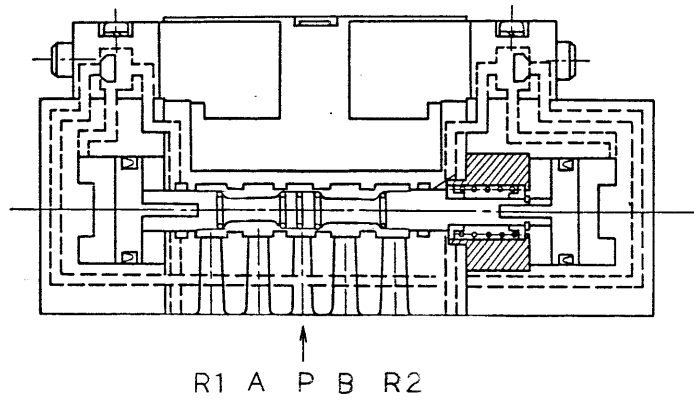
2 位置ダブル (4L220)



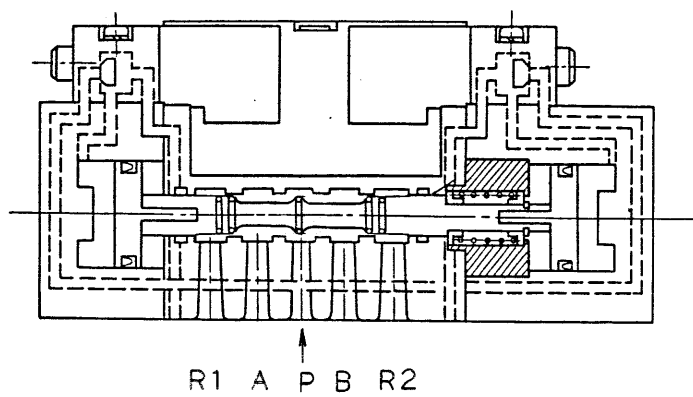
3 位置クローズドセンタ (4L230)



3位置エキゾーストセンタ (4L240)



3位置P・A・B接続 (4L250)

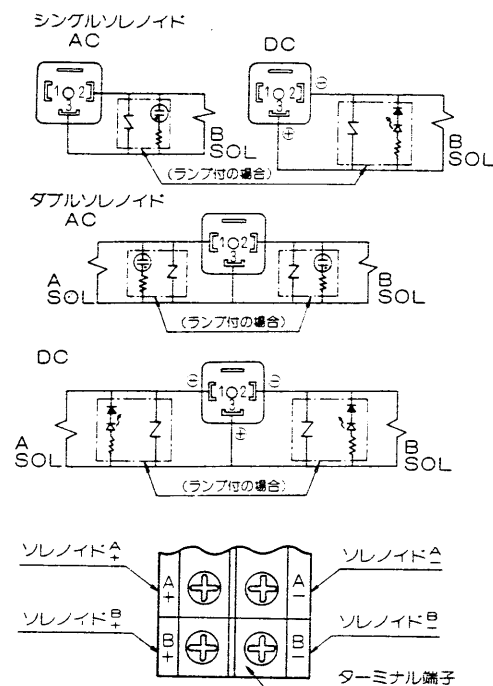


3. 使用上の注意

3-1 使用時の注意

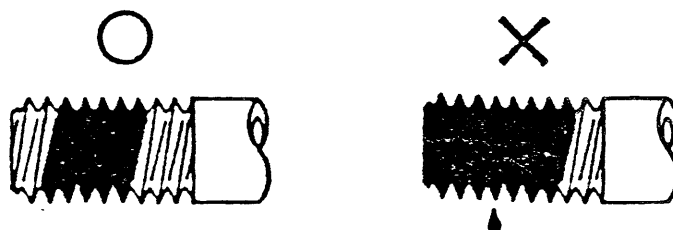
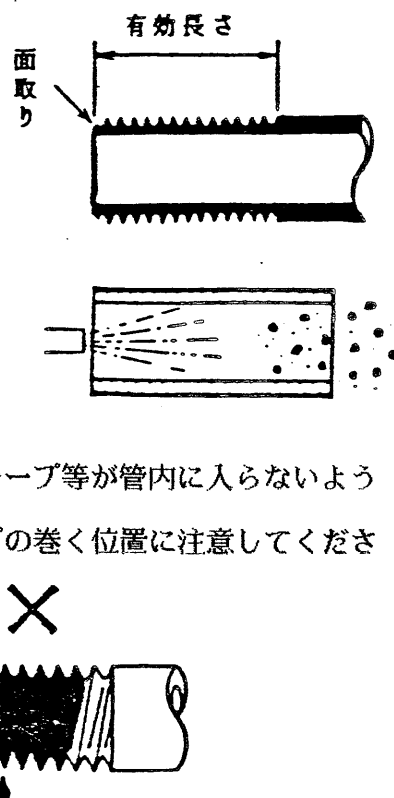
- (1) 端子の結線を誤りますと、電磁弁の誤作動などの原因となります。又、ランプ付（DC）の場合はランプが点灯しませんので、右図を充分ご参照のうえ、結線ください。
 - (2) ターミナル端子に表示してある $A^+ \cdot A^- \cdot B^+ \cdot B^-$ に合わせて結線してください。
 - (3) シングルソレノイド時の取付けは自由ですが、ダブルソレノイドはスプールが水平になるように取付けてください。
- 振動のある場所では、振動方向とスプールが直角になるように取付けてください。
- (4) サブプレートに電磁弁本体を取付け、取りはずしする際は、直下・真上に動かしてください。斜めに動かすと、トラブルの原因になります。
 - (5) ノンロックタイプ（標準品）は、+ドライバーで押してください。
- ロックタイプ（オプション品）は、-ドライバーで90°回してください。
- (6) ランプ付（オプション品）は、TAG銘板がなくなります。

DIN形端子結線図



3-2 配管時の注意事項

- (1) ガス管のネジの長さは、有効ネジ長さを守ってください。また、ネジ部先端より半ピッチ程度は面取り仕上げしてください。
- (2) 配管前に管内の異物・切粉等除去のため、ブラッシングをしてください。
- (3) 配管を製品へ接続される場合、シール剤やシールテープ等が管内に入らないように、シール剤の量や塗布の位置、またシールテープの巻く位置に注意してください。



3-3 配線上の注意

- (1) 配線用電線は、公称断面積 0.5 mm^2 以上を使用してください。

D I N 端子箱の場合は、公称断面積 $0.5 \sim 1.5 \text{ mm}^2$ のものを使用してください。

また、防水性を要求される場合は、外径 $\phi 9$, $\phi 11$ 以下のキャプタイヤコードを使用してください。

- (2) 電気回路は、接点チャタリングの発生しないスイッチング回路を採用してください。

- (3) 電気回路には、ヒューズ(1 A)等を入れてください。

- (4) 電圧は、定格電圧の $\pm 10\%$ 範囲内で使用してください。

- (5) 無接点リレー回路を使用する場合、漏洩電流に注意してください。

A C コイルは、定格電流の 15% 以下

D C コイルは、定格電流の 1% 以下のスイッチを選定してください。

4. 保守・点検

4-1 定期点検

- (1) 電磁弁を最適状態でご使用いただくために、1 ~ 2 回/年の定期点検を行なってください。

(2) 点検内容

- (a) 弁内部にゴミ・異物等が堆積していないか、また高粘性物質が付着していないかを確認してください。

異常であれば、分解掃除してください。

